

埼玉支部50年の歩み(1)

♪プロローグ(連載にあたって)♪先輩達の思いを、未来に繋げたい♪
昭和42年、鷗友会「埼玉県南支部」として再発足した「埼玉支部」(昭和54年に改称)は、
本年度50周年を迎えました。

今年で125周年を迎える鷗友会本体と比べればはるかに短い歴史であり、他の6支部
もそれぞれに脈々と続く歴史があると思います。

埼玉支部は、30周年の平成8年に埼玉支部の歩みを記憶に残し、書きとどめるために、
記念誌「かもめ」を発刊しました。



当時の芦田支部長(56回・92歳でお元気)の序文を、「ご紹介します。

♪「鷗友会を思う時、勿論クラス会や同期会のつながりは強いが、就学の時期は異なっ
ても同じ学舎に誇りある校風のもとで学び、卒業して埼玉県人として生きた同窓の絆は
言いつくせぬ程深い」♪

また、芦田支部長は、平成3年の総会で次のように挨拶されています。

♪「鷗友会も、戦後の男女共学校にふさわしい同窓会をつくりあげていかなければな
らないと思います。どうぞ、一人でも多くの男子卒業生を誘ってご参加下さい。」♪

そんな思いで時が流れているとは知らず、私は、平成13年に埼玉支部に入会し、翌年
の総会・懇親会の幹事を担当しました。開催後に大先輩の小島さん(白4回・昨年ご逝去)
からいただいたお礼の手紙は私の宝です。

♪ご紹介します。

♪「この様な形に育ちますまでに、何と十年かかりました。支部会の歴史と、私達の
思い・・・、三十五年をふり返り、一年もお休みすることなく今年も活気あふれる総会
が持てましたことがとてもうれしくお礼をしたためました。」♪

鷗友読者の皆様に、「埼玉支部50年の歩み」をご紹介させていただくにあたり、事務局
にご無理をお願いして連載とさせていただきます。埼玉支部活動の歴史、現在の活動、
そして未来への展望を、この貴重な紙面をお借りして仲間と共に語り合いたいと考えてお
ります。

皆様が同窓会を考える参考にさせていただければ幸いです。